

疏水百選第4回選定委員会  
<議事録 概略版>

<開会>

臼杵所長開会

山田局長開会挨拶

1月6日付け新しく就任。

昨年3月開始し、本日は第4回で疏水百選を決定していただく。

10月から12月まで投票を行い、22万件余りの投票があり、国民的関心も高い。

今後の疏水を保全する国民運動に対し有意義。

審査をいただき感謝。

林委員長にはテレビ出演、平野委員には、ラジオ出演とご協力に感謝  
移動になる前から、関心をもっていた。

佐藤専務

ご出席に感謝。審査いただき感謝。

本日は100前後の扱いをどのようにするか、ご検討いただきたい。

林座長

議事は2つに分けて進めたい。

疏水百選の選定と今後の広報展開について

はじめに 疏水百選の選定について事務局より説明をお願いしたい。

<資料説明>  
事務局（角田課長）  
（説明）

<議論>  
古谷委員  
広報について、地方の各新聞紙でも広報を行っており、行ったことを追加して、記録として残してもらいたい。

林座長  
記録として残すようにしたい。（事務局同意）  
委員評価・一般投票共に上位が49、委員評価上位が39、合計で88。これに一般投票上位20までの7を加え、95。これが第1次候補、事務局からの15を第2次候補として推薦。

太田委員  
選定作業に感謝。  
候補について知らなかった地区が多くあることに驚いている。  
今回選ばれたところの疏水の品質が問題。選ばれたところの品質が悪いと疏水百選の評判が悪くなることを懸念。例えば選定された疏水への行程、アクセス方法、HPの作成、案内者の存在、写真になるような見るべきポイントなど。これからのことになるとは思うが、決定する段階において、品質について確認してもらいたい。  
お願いになるが、選ばれたところの疏水については、看板もないというようなことが無いように対応してもらいたい。

事務局（角田）  
それぞれの疏水について、管理者、ビューポイント等の確認を行ったうえで、本日提案している。今回の決定を踏まえて、地元で対応できるように念押しをやって行きたい。

林座長  
第2次候補の15については、十分確認されているようであるが、第1次候補の95については、自動的に選定されているのでこれらの地区について、確認してもらう必要があるのではないかとということであったと思うが、事務局で確認されているとのことであったと思う。

中村委員  
秋田県の上郷温水路について、委員評価と一般投票に大きな差があるが、何故か？

事務局（角田）  
投票行動については、人気投票であることから、関係者の多いところは多くなるし、規模の小さなところは少なくなってしまう。  
百選の選定にあたっては、4つの視点に立って大規模なものから、小さくてもきらりと光るものまで選んでいくこととなる。  
上郷温水路は、秋田県象潟町の比較的小さな規模の疏水であるが、松尾芭蕉が訪れるなどの歴史もあり、雪解け水を温め水田に導く工夫などユニークな水路である。他にもユニークな点が多くある水路であることから、委員評価が高かったものと思慮。一般投票は規模が小さいことから投票数が少なかったものと思慮。  
今回の百選は、趣旨から一般投票だけではなく、委員の皆さんの評価も踏まえて決定することとしていることから、今回選定することとさせてもらった。

事務局（中条次長）  
今回の選定の趣旨を地元の方に分かっていたいただき、選定を契機として、農業用水は地域にとって重要な財産であるということを再認識してもらい、地元として積極的に保全活動に取りくんでもらいたいと考えている。

織作委員  
選ばれた方にプレゼントとなっているが、何故宮城県がこけしなのか。  
これは、県から贈呈されるのか？プレゼントはどのようになっているのか。

事務局（太田部長）

今回のプレゼント賞品は、全国の土地連からのご厚意で提供してもらっているもの。

織作委員

はじめから食べ物と限定してお願いする方が良かったのでは？これだけ食べ物でないのはいかがなものか。  
評価の結果(委員限り資料)についてですが、委員評価、一般投票の欄の数字は何か。

事務局(角田)

委員評価と一般投票ともにその順位を示している。

織作委員

事務局推薦の15については、全て良いと思う。

写真がちょっと気になる。力を入れているところと、そうでないところがあり、公表に当たっては、写真を撮り直す必要が有るところもあるのではないかと。

柳澤委員

今回、選ばれなかったところから、理由を求められた場合にどこまで出すのか。また選ばれたところについてもこの表(順位)を出すのか決めておいた方が良いのではないかと。

林座長

選定結果については、委員限りであり、外に出すものではない。順位については、選ばれても選ばれなくても出さない。選ばれなかったところについては、4つの視点から、どの点が足りなかったのか丁寧に説明する必要があると思われる。

柳澤委員

選ばれなかったところも、次の取り組みに弾みになるような説明にした方が良いのではないかと。

林座長

10年後、疏水として見るも無惨な状態になったところを継続的に疏水百選とするのか問題がある。また、今回選ばれずに地方で盛り上がらなかったところでは、投票期間がわずか2ヶ月の間であったことから、敗者復活などが今後できるようにすることも必要ではないか。今後とも疏水百選に選ばれる可能性を閉ざすのはいかがなものかと考える。

柳澤委員

全ての疏水が選ばれれば良かったという思いもあり、今回選ばれなかったところの「みち」を閉ざすことのないようにしてもらいたい。

平野委員

事務局の選定の苦勞に感謝。

資料の内容に感激している。疲れを癒してくれる資料であった。

全国からインターネットやfaxで投票をしたことは良かったのではないかと。

インターネットができていることから、友人に紹介するのにも役だった。

自分が選定の基準にしたのは、自身がそこに行ってみたいかどうかということ。

気になったのは、その疏水を訪れた際に説明してくれる人がいるのか。また、そこへたどり着けるのかということと併せて、訪れたところが安全に見ることができるのかということである。

農水省や水土里ネットに関わっていることから現地を訪れることが良くあるが、観光ルートにはない素晴らしいところを見ることができる。このようなところを外から人が訪れる際には、案内人が必要である。安全安心が求められていることから、そのような状況に現地がなっていることが重要。

今後、選ばれたところについて、体制を整備してもらおうように強く要請してもらいたい。

古谷委員

地方新聞でも紹介したいと考えている。

今回選ばれた疏水については、観光地化する可能性を持っている。これに対応して行く必要がある。

林座長

議論の内容が次の課題に移っているが、名水百選になった地区で、「名水に選ばれて・・・」という川柳があり、選ばれたことで地域が大変な思いをしたことを皮肉った内容のもので、観光客が増えすぎてがたがたになってしまったことをいっている。

今回の選定が、ありがた迷惑にならないように、疏水百選の趣旨にあるように対処していく必要がある。

以前、農業用水百選というものを事務的に選んであるが、今回の百選の地区とかなり異なっている。これは、用水の規模の大きさが違うのと、公募というものを取り入れたことにあると思われる。

今回の百選は、地区が小さくてもきらりと光るものがあれば選ばれていると感じる。

林座長

委員限りの資料で、2次候補については、委員評価で100位までのものがかなり含まれている（田沢疏水、篠津運河）が、これは、評価を尊重してもらっていると考えられる。しかし、委員評価が低いものもあり、例えば深良用水、湖北用水、高瀬川については、推薦理由を再度お聞きしたい。

事務局（角田）

深良用水は、一つは一般投票が高いこと、芦ノ湖からトンネルをくり抜いて導水したモニュメンタルな疏水であること。保全管理ができています。地域住民活動もされています。

湖北用水は、最初の選定資料の写真の印象が悪かった。今回の資料は、地域用水の活用や地域住民の活動が積極的なところであること。

高瀬川は、選定資料の写真が悪く、説明も余りよくなかった。実際は、斐伊川から導水した歴史あるもので、用水が藍染めや地域用水に現在でも利用されている。

太田委員

事務局の説明に付け加えて、深良用水は、小学校の教科書にも紹介されている。湖北用水の雨森集落は、朝鮮通信士が滞在したところであり、水のきれいなところである。

織作委員

湖北用水は、調書の写真が良くない。風景の良いところを紹介すべきであった。

林座長

百選の案として110が提示されているが、出席されている委員から、独自にこの疏水を入れるべきというところがあれば提案をいただきたい。また、現在の110の中から落とすべきものがあれば、併せてご提案をいただきたい。

今回、決まると、数年はこのままとなる。

太田委員

委員限りの資料で、C評価があるものについて確認した方が良いのではないか。

事務局（角田）

宮崎の杉安堰は、基準に適合しているため。

沖縄の宮古用水は、畑地かんがいの地下ダムにより用水を供給している。地域振興に大きく寄与している。沖縄県内の候補の他2地区よりは良いと判断した。

畑地かんがいは、水が表に見えないが、畑地かんがい特有の状況を考慮して選定している。

林座長

意見が無いようであれば、確認を取りたい。

委員評価、投票結果ともに高いもの49

委員評価が高いもの39

一般投票上位20位7つ

事務局からの推薦15

合計110を疏水百選として選定する。（委員全員同意）

< 今後の広報展開 >

< 資料説明 >

事務局（太田部長）  
説明

< 議論 >

林座長

百選の公表の予定は？

事務局

決まり次第、この委員会の後に、本日中に公表を予定。

林座長

本日の公表であると、柳澤委員の指摘にある落ちたところの地区への説明や選定されたところの順位についてどのように対応するのか。

事務局（角田）

順位については、委員会資料にある上位20位までをインターネット等で示す予定。

それ以外については、順位の公表はしない予定。

また、問い合わせについては、可能な限り個別に応えていきたい。

今後は、これを機会に県単位で百選を実施するなど地域の疏水の再発見をしてもらいたいと思っている。

中村委員

疏水百選は、「100」を選ぶことが目的ではなくて、疏水というものをそのまま放っておくと大変ですよということを知ってもらうことが重要である。疏水は農業振興とつながっているもの。100に意味があるのではない。5～10年かその後に、もう一度やって、今回の地区をフォロー（状況確認）することと、もう一度、これと匹敵するところを選んではどうか。「100」というのは多いと言うことの象徴であり、今回も110を選んでることから、今後増やして200にでも300にでもして良いのではないか。そういうことと併せて今回発表することはできないのか。

今回の選定は、このような基準で選定したら、たまたま110であった。しかし選ばれなかったところもこれだけ沢山あるので、日本中にはきちっとしたこれだけ沢山の疏水があって、日本農業を支えていくし、教育もできるということをやっていることや、次ぎにつなげることをやっていくべきである。

事務局（角田）

委員のご指摘を踏まえて、公表内容について検討して行きたい。これで終わりという訳ではなく、次ぎにつなげていきたい。

プレスリリースについては、本日の決定をもって発表することを考えているが委員長と相談して決めていきたい。

事務局（山田局長）

中村委員のご意見にあるようなことを、発表するときに趣旨をはっきりさせた形で、メッセージが国民の皆さんに伝わるようにしていく方が良いのかなと思う。決まりましたとのみ公表するのではなく、誰かがきちっとこのような趣旨で実施している旨を伝えていった方が良く考える。先ほど公表の仕方について、角田課長から申し上げたような今日というわけではなく、林委員長と相談して的確な方法を考えていきたい。

今日の発表というのは、訂正させていただき、来週にでも行って行きたい。

林座長

中村委員の言われた10年というのは長すぎると思うので、5年を目処に何かしらやっていく、敗者復活があるというメッセージを発表と同時に伝えることが必要。

でないと、疏水百選をやった目的が達成されないということとなる。

太田委員

一つの方法論として、委員会意見として示してはどうか。委員会での要請を受けて、農林水産省として実施するということを表明してはどうか。その後、その具体化をどのようにするかを事務局で検討いただいてはどうか。その方が投票や委員会での検討が生きることとなる。

事務局（山田局長）

ご意見がありましたように、役所が事務的に発表するのではなく、委員長か委員の方に出ていただいて、メッセージを伝え、その内容について役所がフォローするようなことで進めるなど、委員長や委員と相談は必要であるが、太田委員の意見を参考に検討したい。

古谷委員

本日の発表では、全国の地方紙につぶさに掲載するためには対応できない。共同通信にも相談するが、掲載内容に書き間違いがでないよう、資料を提供して掲載したいので、時間をとってもらいたい。

また、先ほどの座長や山田局長のご意見なども事務局の方でまとめていただき、併せて配信していきたいので、対応方よろしくお願ひしたい。

公表までのスケジュールを教えてください。

資料では百選公表が2月上旬となっていたので、お話を聞いて驚いている。

平野委員

広報について、資料を作成されると思うが、誰が伝えていくのかが重要。新聞やテレビの他に、少人数対象の口コミ効果が意外と効果が高い。企業が出す新製品などは、女子高生の口コミを利用して情報伝達しているところもある。

今回の百選についても、小さなイベントでも伝えていくことができるようなネットワークがあればと思う。草の根的活動ができるような下働き軍団を活用していければと思う。私も協力したい。資料に追加してもらえればと思う。

林座長

13頁の2月22日の認定式で、参集される各疏水の代表者の方による自主的な疏水サミットの開催や事務局になってもらうなどの取り組みが必要ではないか。また、110の疏水で実施されるイベント情報を把握するネットワーク作りなどの組織化ができないか。そのようにして運動を広げていければと思う。

例えば、那須野ヶ原用水の星野さんなどは適任者ではないか。是非2月22日に来てもらいたい。

公文委員

HPの充実で、選定各地区の充実とあるが、個別の地区で取り組むのか

事務局（角田）

投票の段階で、疏水百選のHPを立ち上げており、この中の充実を図ることを考えている。このほか、各疏水の管理者等がもつHPも充実してもらい相互にリンクすることも考えている。

公文委員

各疏水でのイベントの開催なども事務局で把握されるのか。

事務局（角田）

コストもあるので検討が必要であるが、疏水百選HPの中で紹介できるような仕組みができればと考えている。

太田委員

全国での情報発信、地域での情報発信など、それぞれに取り組む必要がある。説明にあったy a h o oに掲載されたとあったが、どのようにしてやったのか、コストはかかったのか？今回も同じようにできないのか。

事務局（太田）

コストはかかっていない。申込を行い、相手方で判断して載せてもらったもの。

太田委員

いろいろな努力をして情報発信に取りくんで行くことが重要。  
JRの新幹線のパンフレットなどに情報提供をしてはどうか。

中村委員

ここで農業の話をするのが良いかどうか分からないが、選定を通じて、「疏水」という美しいところへ行くかのような幻想を抱きがちな広報への議論になっているが、地元で農業に取り組む人たちの地域活性化につながるような広報をするべきではないか。これが、基本であって、農業や地域の元気がでるようなことにつながらないと、百選の目的に反していくのではないか。

疏水がきれいであることは重要であるが、都会の人と一緒にあって農業やその地域を守っていくことが重要であることを考えていくことが重要。

林座長

年2回ほど疏水がある地域で実施される「江ざらい」などに参画するツアーなどができればいいと思う。

地元が頑張っていることに、都市住民が協力できることになることができればよいと考える。

40万kmの中には、荒れてきていることもあり、守って行くには、いろいろなアイデアを出しつつ、都市住民を巻き込んでいくような取り組みにつなげることが重要。

古谷委員

疏水百選の地域は観光地化してく可能性があるが、観光客にとってはいわゆる「観光地」とは内容が少し異なると思われる。地域の方が活動に取り組んでいることが評価されることは重要である。しかし、広報のやり方についてそのような視点は必要。

例えばウォーキングなどにとっては良いツールになるのではないか。訪問者はいろいろ研究して現地を訪れており、訪れやすくするために、話題性を作ってあげるのが重要。

事務局（佐藤専務）

応募するとき、選ばれて来訪者が増えると大変だなと言って応募しなかったところもあると聞いている。今回選ばれることとなった疏水にあっては、応募してきた段階で、来訪者が増えることについては覚悟ができると思われる。

21世紀土地改良区創造運動に取り組んでおり、自分たちの財産を活用しながら立場を説明していこうという活動に取り組んでいる。そういうところでは、施設に名札をつけるとか、故事来歴を掲示する活動などに取り組んでいる。今回選ばれたところにあっては、看板や安全設備など足りないところは、十分に整備して、安全に施設の周辺を歩いてもらえるようなルートを考えるように対応して行きたい。

「日本の百名山」の本のようなものを疏水百選を題材に作って行きたい。制作には1~2年かかると思うが、各疏水の良い時期の良い写真を集めたり、セールスポイント、アクセス方法、説明対応者の整理などを将来的に考えている。

< 抽選 >  
事務局説明（太田）

< 閉会 >  
林座長  
委員の任期はいつまででしょうか？

事務局（角田）  
今後の広報の関係もあり、引き続きお願いしたい。

林座長  
委員会については、これで終わりということで、これで委員長のお役目を終わらせて  
いただきたい。

事務局（臼杵）

事務局挨拶（中條次長）  
謝辞  
農地・水・環境保全施策を昨年決定。  
疏水百選の盛り上がりを懸念していたが、各委員のご協力（個別に紹介）もあり盛り  
上がる事ができた。  
ポスターについても、評価を受けた。  
内容について事務局として評価したが、大変であった。委員のご苦勞を推し量り、選  
定いただいた作業に感謝。  
これでおわることなく、漏れたところについては、フォローしていきたい。